

# 平成30年度 事業報告書

(自平成30年1月1日 至平成30年12月31日)

一般財団法人日本ボクシングコミッション

## 1 業務管理について

### (1) 日本ユースタイトルの認定

平成30年9月1日より認定。

### (2) 業務管理の適正化を推進した。

- ①稟議書・伺書の標準化、出張申請の適正化を実施した。
- ②賞与査定を実施した。
- ③人事管理規定制定に伴い、業務内容表を作成した。

## 2 試合管理に関して

(1) 世界(男子29/女子12)、東洋太平洋(男子24/女子8)、WBOアジアパシフィック(男子13/女子3)、日本(男子31/女子7)のタイトルマッチ及びその他合計195興行の試合管理を行った。

### ●内訳

地区	2018	2017	差
東京	105	107	-2
中部	16	17	-1
関西	52	52	0
西部	22	20	2
合計	195	196	-1

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスを発給した。ライセンスの発行数は、4,277名(内：外国人ボクサー237名)

### ●内訳

種別	2018	2017	差
ボクサー	2,181	2,252	-71
男子	2,041	2,098	-57
女子	140	154	-14
プロモーター	62	64	-2
クラブオーナー	275	277	-2
マネージャー	416	415	1
トレーナー	617	623	-6
セコンド	386	383	3
マッチメーカー	4	3	1
レフェリー	135	142	-7
タイムキーパー	12	12	-1
アナウンサー	9	11	2
ドクター	92	88	4
進行	7	7	2
合計	4,196	4,277	-81

●ボクサーライセンス取得者（）内は女子ボクサー

	2018	2017	差
A級	646(39)	681(55)	-35
B級	256(30)	252(17)	4
C級	1279(71)	1319(82)	-40
合計	2181(140)	2252(116)	-71

(3) プロボクサー新人テスト実施をした。

●受験者数

地区	2018	2017	差
東京	315	323	-8
中部	51	48	3
関西	96	146	-50
西部	78	72	6
合計	540	589	-49

(4) 日本ランキングを決定し発表した。

ランキング委員会を開催した。(月例)

●メンバーは、専門誌記者、一般紙・スポーツ紙記者、ボクシングアナリスト、J P B A、J B C

※平成30年4月度日本ランキングより12位以内を日本タイトルへの挑戦資格者とし、13位以下までランキングを拡大することとした。

(5) 試合役員研修会を実施した。

各地区の状況は、東京地区9回、中部地区0回、関西地区0回、西部地区0回であった。内容は、採点基準、レフェリング(反則処置)、事故防止等であった。

### 3 安全防護に関して

(1) J B C・J P B A合同医事講習会を開催した(東京本部管轄)。

(平成30年7月11日、後楽園ホール5F展示会場)

① 講師

谷諭医師 東京慈恵会医科大学附属病院脳神経外科教授

『慢性外傷性脳症について』

野中雄一郎医師 東京慈恵会医科大学附属病院脳神経外科診療部長

『アンケートからみるリング事故の実態』

村野あずさ 株式会社明治 管理栄養士

『階級制スポーツにおける減量と栄養面からみたコンディショニング  
～短期急速減量の危険性とリスクについて～』

② 参加者

117名

③ 内容

●脳震盪が脳に及ぼす影響の一つである慢性外傷性脳症のうち、いわゆるパンチドランカーの仕組みや発症過程につきスライドを用いて詳細に説明された。

●リング事故に遭い、社会復帰した選手に対するアンケートで、試合前から試合後にかけてのコンディショニングや減量過程などを分析し、頭蓋内で発生する出血の予兆や原因などの知識が分かりやすく説明された。

(3) リング事故（急性硬膜下血腫受傷）

①山中竜也（真正）が7月13日神戸市立中央体育館において、ビック・サルダール（フィリピン）との12回戦で12回判定負け後、急性硬膜下血腫にて緊急入院し、保存療法で対処、現在は日常生活を送る。

② 戸谷彰宏（蟹江）が11月16日エディオンアリーナ大阪において、久田哲也（ハラダ）との10回戦で10回判定負け後、急性硬膜下血腫にて緊急入院。保存療法で対処。現在は日常生活を送る。

3 国際交流について

(1) I B F（国際ボクシング連盟）第35回年次総会

（5月28日～6月1日、イタリア・セントビンセント）

協議事項

\*リングオフィシャルセミナー

\*各地域総会

\*ランキング委員会

\*指名挑戦者確認

（出席者）JBC 関係：安河内剛本部事務局長、宮崎久利、野田昌宏、加藤孝雄  
村瀬正一、染谷路朗

JPBA 関係：本田明彦（帝拳）、鈴木真吾（角海老宝石）

ジョー小泉（リングジャパン）他

(2) W B C（世界ボクシング評議会）第56回年次総会

（10月1日～10月6日、ウクライナ・キエフ）

協議事項

\*リングオフィシャルセミナー

\*各地域総会

\*ランキング委員会

\*指名挑戦者確認

(出席者) JBC 関係：安河内剛本部事務局長 宮崎久利

JPBA 関係：本田明彦（帝拳）、鈴木真吾（角海老宝石）

ジョー小泉（リングジャポン）他

(3) WBO（世界ボクシング機構）第31回年次総会に参加した。

（平成30年10月30日～11月3日、パナマ）

① 各種報告

② フリーディスカッション

出席者（JBC関係分）：安河内剛

#### 4 ボクシング功労者の表彰について

2017年度年間優秀選手表彰式を開催した。

(1) 日時

平成30年2月9日

(2) 場所

東京ドームホテル

(3) 表彰選考会

平成30年1月26日実施

(4) 表彰選手

①プロの部10部門(20名)

(5) 各種チャンピオンの引退

●元WBC女子世界アトム級、ミニフライ級チャンピオン 小関桃（青木）

●元WBO女子世界フライ級チャンピオン 好川菜々（堺東ミツキ）

●元WBC世界バンタム級チャンピオン 山中慎介（帝拳）

●元WBO世界ミニマム級チャンピオン 山中竜也（真正）

●元日本ライト級チャンピオン 坂本大輔（角海老宝石）

●元OPBF&日本ウエルター級チャンピオン 亀海喜寛（帝拳）

●元日本スーパー・フライ級チャンピオン 戸部洋平（三迫）

(6) 世界王者獲得

●WBA世界バンタム級チャンピオン 井上尚弥（大橋）

●WBO世界スーパー・フェザー級チャンピオン 伊藤雅雪（伴流）

●WBO世界・フライ級チャンピオン 田中恒成（畑中）

●WBC世界スーパー・バンタム級暫定チャンピオン 亀田和毅（協栄）

●WBC世界バンタム級暫定チャンピオン 井上拓真（大橋）

- WBA世界ライト・フライ級チャンピオン 京口紘人（ワタナベ）
- WBO女子世界ライト・フライ級チャンピオン 天海ツナミ（山木）
- WBO女子世界アトム級チャンピオン 岩川美花（高砂）
- WBA女子世界アトム級暫定チャンピオン 宮尾綾香（ワタナベ）
- WBO女子世界ミニマム級チャンピオン 多田悦子（真正）

## 5 広報普及活動について

- (1) ボクシング広報誌を発刊した。  
毎月発刊
- (2) ボクシング年鑑を発刊した。  
平成30年4月1日
- (3) ホームページの活用  
最新情報を掲載した。
- (4) ジュニアチャンピオンリーグボクシング全国大会の開催に協力した。  
日時  
平成30年10月7日  
場所  
東京・大森ゴールドジム

## 6 記録、資料について

選手記録（戦績、診断の記録カード）、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存を継続的に行った。

## 7. その他

- (1) 理事会を2回開催した。
  - ①平成30年2月26日
  - ②平成30年12月20日
- (2) 評議員会を1回開催した。
  - ①平成30年2月26日
- (3) 物故者  
平成30年度にご逝去されたボクシング関係者は●名であった。
  - 増田義雄（駿河ジム会長）2月3日ご逝去（82歳）
  - 高橋美德氏（国際ジム会長）5月22日ご逝去（79歳）
  - 林守（元日本スーパー・フェザー級王者）6月14日ご逝去（76歳）
  - 本多石次郎（本多ジム前会長）9月5日ご逝去（87歳）
  - 松本芳明（元日本フライ級王者）9月13日ご逝去（71歳）
  - 手崎弘行（元審判員）10月23日ご逝去（86歳）
- (4) 処分関係

平成 30 年度は、19 案件 34 人を処分した。内容は以下の通りである。

① 蒲山直輝（小熊：ボクサー）の件

平成 30 年 1 月 30 日、試合前日計量において 0.4kg 体重超過し計量失格となった。

●蒲山直輝を嚴重注意処分。

●小熊正二（小熊：クラブオーナー）を嚴重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 30 年 1 月 30 日付）

② 佐伯瑠壺斗（岐阜ヨコゼキ：ボクサー）の件

平成 30 年 3 月 25 日の試合前日計量において 1.1kg 体重超過し計量失格となった。

●佐伯瑠壺斗を嚴重注意処分。

●横関孝志（岐阜ヨコゼキ：クラブオーナー）を嚴重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 30 年 3 月 26 日付）

③ コーチ義人（角海老宝石：ボクサー）の件

平成 30 年 3 月 27 日の試合前日計量において 1.8kg 体重超過し計量失格となった。

●コーチ義人を嚴重注意処分。

●鈴木真吾（角海老宝石：クラブオーナー）を嚴重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 30 年 3 月 28 日付）

④ 澤井剛志（グリーンツダ：ボクサー）の件

平成 30 年 3 月 31 日の試合前日計量において 1.6kg 体重超過し計量失格となった。

●澤井剛志を嚴重注意処分。

●本石昌也（グリーンツダ：クラブオーナー）を嚴重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 30 年 4 月 2 日付）

⑤ 比嘉大吾（白井・具志堅：ボクサー）の件

平成 30 年 4 月 15 日の試合前日計量において 0.9kg 体重超過し再計量することなくタイトルを剥奪された。

●比嘉大吾をライセンス無期限停止処分及び次戦以降の階級変更命令

●具志堅用高（白井・具志堅：クラブオーナー）を戒告処分

理由－クラブオーナーとしての管理責任懈怠。

●瀧田通子（白井・具志堅：マネージャー）を戒告処分

理由－マネージャーとしての管理責任懈怠。

●野木丈司（白井・具志堅：トレーナー）を戒告処分

理由－トレーナーとしての管理責任懈怠。  
(平成 30 年 4 月 25 日付)

⑥ 入口裕貴 (エスペランサ : ボクサー) の件

平成 30 年 4 月 28 日の試合前日計量において 0.5kg 体重超過し計量失格となった。

- 入口裕貴を嚴重注意処分。
- 橋本隆志 (エスペランサ : クラブオーナー) を嚴重注意処分  
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

(平成 30 年 5 月 1 日付)

⑦ 小嶋夏生 (石神井スポーツ : ボクサー) の件

平成 30 年 5 月 1 日の試合前日計量において減量失敗による体調不良を理由に計量会場へ現れず計量失格となり、試合をキャンセルさせた。

- 小嶋夏生を嚴重注意処分。
- 奥田喜久二 (石神井スポーツ : クラブオーナー) を嚴重注意処分  
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

(平成 30 年 5 月 28 日付)

⑧ 尾川堅一 (帝拳 : ボクサー) の件

2017. 12. 9 アメリカにおける IBF スーパー・フェザー級タイトルマッチにおけるドーピング検査において、禁止薬物の陽性反応を示しネバタコミッションより 6 ヶ月の資格停止処分・罰金・無効試合となる。

- 尾川堅一を平成 29 年 12 月 9 日より 1 年間のライセンス停止処分。
- 本田明彦 (帝拳 : クラブオーナー) を戒告処分  
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。
- 田中織大 (帝拳 : マネージャー) を戒告処分  
理由－マネージャーとしての管理監督責任。

(平成 30 年 5 月 28 日付)

⑨ 湯場忠志 (YUVAX : クラブオーナー) の件

平成 30 年 3 月 27 日、元交際相手女性に対し執拗にメールを送ったとしてストーカー規制法違反の疑いで宮崎県警に逮捕された。

- 湯場忠志を平成 30 年 3 月 27 日より 1 年間のライセンス停止処分。

(平成 30 年 5 月 28 日付)

⑩ 加藤竜太 (UNITED : マネージャー) の件

平成 30 年 2 月 7 日、十数人からなる振込め詐欺のリーダーとして、警察官や金融庁職員を装い、少なくともカード 300 枚以上を詐取し、現金 8,000 万円以上を引き出しだまし取るなどの詐欺容疑で警視庁と兵庫県警の合同

捜査本部に逮捕された。

- 加藤竜太を平成30年2月7日よりライセンス無期限停止処分。  
(平成30年5月28日付)

⑪ 石井優平（宮田：ボクサー）の件

平成30年6月5日の試合前日計量において減量失敗による体調不良を理由に計量会場へ現れず計量失格となり、試合をキャンセルさせた。

- 石井優平を嚴重注意処分。
- 宮田博行（宮田：クラブオーナー）を嚴重注意処分  
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

(平成30年6月7日付)

⑫ 村中優（フラッシュ赤羽：ボクサー）の件

平成30年6月21日の日本バンタム級王座決定戦の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に計量会場へ現れず計量失格となり、試合をキャンセルさせた。

- 村中優を平成30年6月21日よりライセンス無期限停止処分。

(平成30年7月19日付)

⑬ 土屋浄司（フラッシュ赤羽：ボクサー）の件

平成30年7月2日の試合前日計量において減量失敗による体調不良を理由に計量会場へ現れず計量失格となり、試合をキャンセルさせた。

- 土屋浄司を嚴重注意処分。

⑭ 川島勝（フラッシュ赤羽：クラブオーナー）の件

平成30年6月21日の日本バンタム級王座決定戦の前日計量において、村中優を、平成30年7月2日の試合前日計量において、土屋浄司をそれぞれ減量失敗による体調不良を理由に計量会場へ現れず計量失格となり、結果10日間の間立て続けに2回も試合をキャンセルさせた。

- 川島勝を平成30年7月1日より3ヶ月のライセンス停止処分。

(平成30年7月19日付)

⑮ 亀田和毅（協栄：ボクサー）の件

平成30年8月16日、観客として観戦していた世界タイトルマッチの試合終了後、興行主や生放送で放映していたテレビ局の承諾なく無断でリングに上がり、勝者陣営ともみあいになるなど一部混乱を招いた。

- 亀田和毅を嚴重注意処分。
- 金平桂一郎（協栄：クラブオーナー）を嚴重注意処分  
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

(平成30年9月6日付)

⑯ 稲嶺光紀（ワタナベ：ボクサー）の件

平成 30 年 8 月 3 日、理由を告げずに規定の時刻までに公式計量会場に現れず失踪し、予定されていたセミファイナル試合をキャンセルさせた。

●稲嶺光紀を平成 30 年 8 月 3 日より 6 ヶ月のライセンス停止処分。

●渡辺均（ワタナベ：クラブオーナー）を厳重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 30 年 9 月 6 日付）

⑰ 板垣幸司（広島三栄：ボクサー）の件

平成 30 年 10 月 12 日、後樂園ホールでの試合において、JBC ルール第 85 条 4 項で禁止されているコンタクトレンズを装着して試合に臨んだ。

●板垣幸司を厳重注意処分。

●藤本雅義（広島三栄：クラブオーナー）を厳重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 30 年 10 月 15 日付）

⑱ 西村浩明（折尾：クラブオーナー）の件

平成 30 年 10 月 21 日、地場産くるめでの日本ミニマム級最強挑戦者決定戦において、判定結果を不服として大きな怒鳴り声を上げ執拗に抗議するとともに、審判員を自陣控室へ連れ込もうとしたり、担当審判員の自宅にまで電話をかけ採点疑義を訴えるなどした。

●西村浩明を平成 30 年 10 月 21 日より 6 ヶ月のライセンス停止処分。

（平成 30 年 11 月 27 日付）

⑲ 西村聴音（折尾：プロモーター）の件

平成 30 年 10 月 21 日、地場産くるめでの日本ミニマム級最強挑戦者決定戦において、判定結果を不服として大きな怒鳴り声を上げ執拗に抗議するとともに、審判員を自陣控室へ連れ込もうとしたり、担当審判員の自宅にまで電話をかけ採点疑義を訴えるなどした。

●西村聴音を平成 30 年 10 月 21 日より 6 ヶ月のライセンス停止処分。

以上